

2024年7月3日 『朝礼時講話～報告事項』

(1) 講話概略【無財の七施(むざいのしちせ)…④】

今月も仏教の教え『無財の七施』についてのお話しとなりますが、7つの施しの内の6つ目、「床座施」についてです。『床座施』「席や場所を譲る施し」です。電車やバス、何か催し物などの会場で席を譲る行動です。親切な行動として、気持ちの良いものです。[私などは席を譲った際に断られたりすると、「何だよ、折角席空けてあげたのに…」などと、少々ムツとしてしまいます。見返りを求めている心の小ささが露呈されるという恥ずかしい限りですが…(笑)。]

さて、この床座施、席を譲るという事をもう少し深めて考えますと、「席をあけて待っている」という事も言えると思います。

今年3月、ある保健師さんのお話を聴く機会を賜りました。その方は、仕事熱心に勤めていましたが、心病んで仕事ができなくなり、長期休職の時間を過ごしていたそうです。

保健師さんはこうおっしゃいました。

『休んでいる中、仲の良い同僚がいつもLINEなどで声を掛けていてくれました。それは、特に他愛もない話題だったり、世間の話題だったり、私がいちいち考え込まないように配慮してくれている事が伝わるものでした。しばらく時間が過ぎて、その同僚たちから飲み会の誘いがきたんです。仲のいい同僚3人での飲み会。その時は嬉しくてオッケーしたのですが、当日を迎えたら急に怖い気持ちが起こってしまって、結果、ドタキャンしてしまったんです。本当ひどい事してしまった…もう顔をあわせられないくらいの気持ちでいました。ところが、同僚は私の事を気遣ってくれて、『ごめんね、無理させちゃったね。また、今度、飲めたら嬉しいな。』

って言ってきて。今、私は、そうやって待っていてくれた同僚たちのおかげで、現在、職場復帰して、こうやってお話できるまでになりました。本当に辛い時は休んでいいし、さり気ない言葉掛けと、待っていてくれる人がいるって、本当にありがたい、幸せな事だなあと感じます。』

とても心に響く、お話でありました。

きっとその保健師さんは、今度は傷んでいる誰かにそっと寄り添って、席をあけて待つような気持ちで関わっているのではないかなあと想像しています。

『あなたの居場所、ここにあるよ。あけて待ってるからね』という待つ心、さり気なく寄り添う気持ちと行動の尊さを、本日の講話と致しました。



(2) 連絡事項

【講話+④+追記 1~2 理事長 ①生活課長 ②~③事務課長】

- ① 本日のショートステイは、午前中2名入居、夕方1名退居となります。
- ② 先日、電気設備交換工事がありました。そこで回路不具合が生じました。その検証のため、7月4日(木)に13:00~14:00まで再び停電作業に入ります。ご不便お掛けしますが、宜しくお願い致します。
- ③ 電機コンセント造設のため、調理室の電気工事が7月4日(木)午前中からお昼に掛けて施行されます。こちらもご不便お掛けしますが、宜しくお願い致します。
- ④ 大変遅くなりましたが、各部署・各ユニットの令和5年度の振り返りと令和6年度の目標がまとまりました。他の部署やユニットがどう振り返って、どんな目標を立案しているかを自主研修のつもりでしっかりお目通しいただきたいと思っております。

【追記1】

看護師にHさんが7月1日から正式に加勢してくれています。久々の看護師4人体制となります。介護にも加勢してくれる考えも示してくれていますので、宜しくお願い致します。

【追記2】

外国人特定技能労働者のMさんが諸事情により今月退職となります。1年と言う短い時間でしたが、これまでありがとうございました。次の場所でもお気をつけて、お元気で。